

みどり通信



第10号

発行:地域創生課

3月19日(水)、翠地区19人・集落支援員1人、行政職員2人、地域おこし協力隊3人、その他1人が集まって、第9回翠地区意見交換会を開催しました。

これまでの2年間を振り返ってみました

意見交換会がスタートし、2年が経ちました。
(卒業式風に振り返ります)

○翠地区の現状を見える化して、

みんなで共有するために、高校生以上の地域の方、一人ひとりをお願いした

「アンケート調査」

○これからの翠地区を考え・話しあった

「9回の意見交換会」

○「まずはやってみよう！」で取り組んだ

「翠地区防災学習・体験会」

「上灘川の河川清掃」

○徳島大学の田口先生を招き・学んだ

「勉強会」

さて、翠地区の方々と行政が一緒に取り組んだこの2年間は、翠地区にとって良いことだったのか、それとも…なのか、また、今後も続けていくかどうか。など、グループに分かれて話し合いながら振り返りました。

翠地区から出ていっても応援してもらおう関係性を大切にしよう。

生態系を考慮した効率的なヨシ狩りはないかなあ。

翠地区の10年後を考えて取り組むことが大切だと思った。

子どもたちにもっと参加してほしい。

地域をまたいで話し合うこの取り組みは良いと思う。



ヨシ狩りした場所を通るたびに思い出す。

話し合っ、自分たちでやれるという希望もてた。

アンケートについて、可視化され、意見が把握できてよかった。

防災訓練の参加者が少なかった。周知方法を検討する必要がある。

今後やってみたいことを話し合いました

「防災学習・体験会」「上灘川清掃」

を続けるか？



○川清掃は範囲を広げてはどうか

○二つの活動は継続

○防災訓練は、翠小一か所じゃなく、各集落でミニ体験会をしてはどうか

○河川清掃は地域のためにも継続、場所を変えてみてはどうか

○防災訓練は、体育館のほかにグラウンドも使って開催しては

新たに「やってみたい」ことは

ありますか？

○翠地区運動会は、まずは準備や片付けから地域の住民も参加し、交流することから始めては

○水車小屋の活用を考えてみては

○桜の植樹をしてみても

○盆踊りがてせきないかなあ

○都市部からの受入れ(修学旅行や遠足の受入れ、保育園留学)

○ネット環境のない生活(不便さを楽しむ)

○視察や研修(先進地の取組を学びたい)

○自分たちが楽しむことが一番

仮置きしていたヨシ(ダンチク)を 処分したよ

3月某日、晴天に恵まれた絶好の行楽日和。多くの家族連れが観光いちご園やピザ体験に訪れ、きれいな上灘川を眺めている人々を



12月の河川清掃で出た軽トラ20台のヨシ(ダンチク)。カラカラに乾いていたよ。



積んでは処分を繰り返し、軽トラ8台で処分完了。どうにか、このヨシを再利用できないものか考えながら運転していると、目的地をはるかに通りすぎていました。



今年度の取組が一応決着。さて、次は何する？
(ワクワ)



(閨木 「泣・笑」)

豆知識

「軍手」は「軍用手袋」の略。旧日本軍の兵士が用いたことに由来しているらしい。

横目に「ここは俺たちがきれいにしたんだぞ」と、少し誇らしげに思いながら、仮置きしていたヨシを集落支援員と地域おこし協力隊、そして私の3人で処分しました。

カラカラになったヨシは、軍手を忘れた私の手に、容赦なくダメージを与えました。

5月1日(木)19時00分
第10回意見交換会を開催します

どんどん人口が減る
地域や集落のプレーヤーが減る
どうしたら、

翠地区の多くの方が、
ウエルビーイング(幸せ)に暮らせるかを
行政もきちんと中に入れて、
対話と信頼関係をつくりながら、
話し合い、小さな取り組みから
はじめよう

この意見交換会も3年目に突入です。
地域のペースにあわせて、引き続き、開
催することになりました。

次回は、令和7年度の「〇〇やってみよう」を話し合いたいと思います。

これまで意見交換会に参加
されていない方も、参加大歓迎
です。

【連絡先】

双海地域事務所内

集落支援員 森田

(☎986-1111)

